



# 佐藤 まさたか 市政レポート



第108号  
2024年11月20日発行  
【発行】ちゃんと変えよう!東村山

## 若者の本音をきちんと丁寧に聴き、 共に考え、本気で応える東村山へ変えよう!

### 若者との対話の場から

▶10月初旬、若者と地方議員がざっくばらんに政治のことを語り合うイベント「Voters Cafe」に招かれ、会場の中野区役所へ。主催者教育に長年取り組むNPO法人DAKKOが主催するこの会には、19歳～30代前半の若者22人と区議&市議4人が参加し、「子育て」「防災」「経済的困窮」というテーマに分かれて対話を行いました。私は「子育て」パートを担い、結婚や、子どもを産み育てることへの不安や障壁に対する若者の率直な声を聴くことができました。さらに私より若い3人の区議さんからも大いに学ぶ機会となりました。東村山でも「Voters Cafe」を開催できるように取り組みたいと思います。

▶同じ日の午前中には、東村山で生まれ育った18歳の青年が企画したドキュメント映画「戦雲(いくさぶむ)」上映会のお手伝いにサンパルネのホールへ。彼は3カ月滞在した沖縄で、着々と軍事化が進む現実を前に「自分に何ができるのか?」と考えた末にこの企画を立ち上げたそうです。その想いを受け止めた友人や先輩も駆けつけ、2回の上映は180人を超える来場者で溢れました。

▶いずれの場でも、自身が抱える悩みや葛藤と向き合い、もがき、歩を踏み出そうとする若者のリアルを強く感じることができました。

### こども・若者政策の本気度が問われる 「東村山市こども計画」の策定

▶昨年4月の「子ども基本法」制定を受け、東村山市でも「こども大綱」に則った「こども計画」策定が進められています。対象は未就学児から概ね30代までで、8月には「子ども・若者未来会議」が開かれ、「私が市長になったら」をテーマにグループワークが行われました。楽しく自由闊達に意見が交わされる様子を傍聴しましたが、市がこのような場を一過性のイベントにせず継続する意思があるのか、ふわっとしたイメージの話で終わらせず

具体的な政策として実現するつもりがあるのか等、とても気になりました。

▶11月1日の午後は、この計画の策定を担っている「子ども・子育て会議」の傍聴へ。これまでの経過を踏まえた原案が示されましたが、従来の施策を体裁よく並べ直した程度に私には思えました。子どもや若者施策の専門家である委員さん達の参加を活かしているとも思えませんし、例えば私がこれまで何度も議会で取り上げてきた「子どもに関わる大人の声ではなく、子ども自身の声を直接受け止めて人権の救済にあたる第三者機関」の設置にも触れられていません。若者支援策が「児童館の夜間開館」で済むはずもなく、委員からは「ユースセンター」の必要性が示されたり、「不登校経験の若者が引きこもったり自殺に繋がっている厳しい現実を踏まえて、何とかしなくては!という想いを計画に入れ込んでもらいたい」との発言もありました。12月議会の一般質問で、「監査のあり方」と共に改めて扱うつもりです。

### 議会にとっても他人事ではない

▶近年、高校生や中学生との対話に取り組む地方議会が増えていきます。10月に盛岡市で開かれた「全国市議会議長会フォーラム」に参加しましたが、メインテーマは「主権者教育の新たな展開」でした。東村山市議会でも数年前に議会と市内高校生との対話の場を模索したことがあります。議会内で合意に至らず、そのままになっています。議会は行政に注文を付けるだけが仕事ではないことを自覚し、政治への関心を高め、若者たちの主体的な社会参加を進めていくことを私たちの重要な責務と考え、取り組みを進めていきたいと私は考えています。



## ■12月定例議会の予定

今年最後の定例議会は12月2日(月)から24日(火)の予定です。現在のところ以下のような日程が見込まれています。

12.2(月) 開会・本会議初日

12.3(火) 本会議予備日

12.5(木), 6(金), 9(月) 一般質問

12.11(水)～17(火) 委員会開催日

12.24(火) 本会議最終日・閉会

議案が多いと聞いており、11月25日(月)には議案、請願・陳情、各議員の一般質問が出揃います。

## そこで! 情報共有の「まさたかミーティング」へお出かけください!

■年4回の定例議会直前、議案や一般質問等が出揃ったタイミングでは「予告」中心に、定例議会後は「報告」中心に21年間続けています。私を応援くださる方に限らず誰にも最新情報を共有いただきたいのでSNS等で広く呼びかけ、オンライン開催も続けています。

■会場へは直接お出かけください。Zoomの入口も書いておきます。予約不要。どうぞ気軽にご参加ください。

## 12月1日(日)のまさたかミーティング



① 午後まさたか1@廻田公民館  
13時半～15時



② 午後まさたか2@中央公民館  
16時～17時半



③ 夜まさたか@オンライン  
20時～21時半

### ■夜まさたかZoom入口:

スマホやパソコンのZoomアプリ(またはブラウザ)のZoomページから、ミーティングIDとパスコードを入力して参加してください。右のQRコードからも参加できます。

ミーティングID: 892 4274 2555

パスコード: 799584



お一人お一人のご意見やご提案をぜひお会いして聴かせてください

## 9月議会で市議会が行った「パワハラ根絶を求める決議」について

9月議会最終日、全会一致で「市役所からパワハラ根絶を求める決議」を行ったことについて、理由や経過を尋ねられることが多いので、説明させていただきます。

きっかけは、9月議会の一般質問で朝木直子議員が市役所内のパワハラの実態と対策を取り上げたことにあります。8年前に顕在化した事案があり、当事者の処分と共に市長が再発防止を約束したのですが、結果として懸念される案件が現在もあるのではないかと問いかけてきた。質問後、朝木議員から「議会としての意思表示をしたい」との呼びかけがあり、私としては「一部の議員では実効性がないので、全会派の賛同が得られるように進めてほしい」という点と、「議員こそ職員に対するハラスメントの元凶になる恐れが昔も今もあるので、決し

て上から目線ではなく、私たち自身が自戒を込めることを盛り込むべき」という点を申し上げました。

一方で、9月議会での私の一般質問に対して総務部長から「職場内でよい人間関係を作って共に頑張ろうという思いをみんなが持てるようにメンター制度の導入を進めたい」という答弁もあったように、働きやすい職場づくりや市民サービス向上へ向けた不断の模索や努力が庁内で重ねられていることも事実です。ハラスメント問題では、「そんなつもりはなかった」という言葉がよく聞かれるように、無自覚、無理解がいつも付きまといまいます。私自身も理解が不足している面が大いにあると思っています。今、「隗より始めよ」の思いで、まずは市議会自身がハラスメント研修を行うことを提案しています。



マニフェスト大賞受賞

## 佐藤まさたか

1963年日野市生まれ・慶應義塾大学経済学部卒・中高社会科教員免許。大学卒業後、一貫して教育や保育の現場に身を置き、2003年に東村山市議初当選。政党や特定の団体の支援を受けない超党派無所属市議として6期目。NPO法人多摩住民自治研究所副理事長/ローカル・マニフェスト推進連盟/市民と議員の条例づくり交流会議等の運営委員/日本シティズンシップ教育フォーラム/子どもの貧困対策センター「あすのぼ」/自治体学会等の会員/全国の優れた政策実践に贈られる「マニフェスト大賞」で最優秀賞1回、優秀賞2回受賞。

## 声を聴き、足を運び、市政充実と議会改革に取り組んでいます

「佐藤まさたか市政レポート」は不定期の発行です。佐藤まさたか本人とボランティアの仲間が、駅頭(主に東村山駅西口)配布やポスティングを行っていますので、連続してお届けできなかったり、発行日から時間が経っている場合もございますがご理解ください。バックナンバーはWebサイト(sato-masataka.net)でご覧いただけます。

## 市政や議会へのご意見、ご相談など、どうぞお気軽に

FacebookやTwitter、ブログから発信中。

「佐藤まさたか」で検索してみてください!

メールアドレス:

0627gachapin@gmail.com

東村山市廻田町2-21-13

TEL. 042-398-5265

